

製品名: ENT1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10480

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

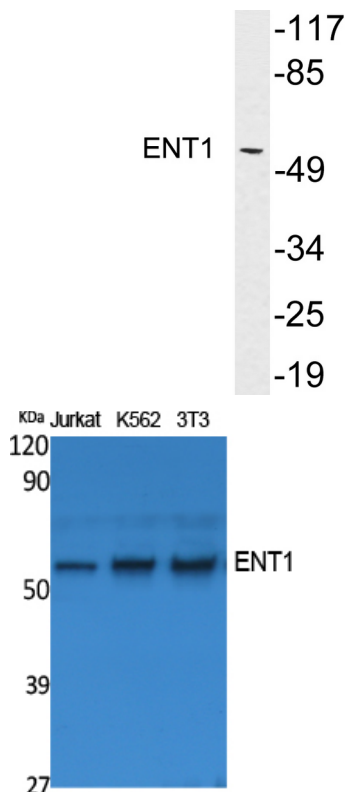
遺伝子名	SLC29A1
別名	SLC29A1; ENT1; Equilibrative nucleoside transporter 1; Equilibrative nitrobenzylmercaptapurine riboside-sensitive nucleoside transporter;Equilibrative NBMPR-sensitive nucleoside transporter; Nucleoside transporter, es-type; Solute carrier family 29 member 1
遺伝子 ID	2030.0
SwissProt ID	Q99808
免疫原	抗血清はヒト ENT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 15-64

背景

この遺伝子は、平衡型ヌクレオシドトランスポーターファミリーのメンバーです。この遺伝子は、細胞膜およびミトコンドリア膜に局在し、周囲の培地からのヌクレオシドの細胞内への取り込みを媒介する膜貫通糖タンパク質をコードしています。このタンパク質は、ニトロベンジルチオイノシン (NBMPR) による阻害に感受性のある、平衡型 (濃縮型ではない) トランスポーターに分類されます。ヌクレオシドトランスポーターは、ヌクレオシドの新規合成経路を欠損する細胞におけるヌクレオチド合成に必要であり、また、癌やウイルス性化学療法に用いられる細胞傷害性ヌクレオシドの取り込みにも必要です。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 膜を介したヌクレオシドの流入と流出の両方を媒介します (平衡型トランスポーター)。低濃度の阻害剤ニトロベンジルメルカプトプリンリボシド (NBMPR) に感受性 (ES) を示し、ナトリウム非依存性です。アデノシンに対する親和性は高く、ジピリダモールおよびジラゼブ (抗癌化学療法薬) によって阻害されます。、PTM: グリコシル化されています。、類似性: SLC29A トランスポーターファミリーに属します。、組織特異性: 心臓、脳、乳腺、赤血球、胎盤、および胎児肝臓と脾臓に発現します。、

研究分野

画像データ



ENT1 抗体を使用した MDA-MB-435 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。

ENT1 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞、K562 細胞、NIH-3T3 細胞抽出物のウエスタンプロット解析。抗体は 1:2000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。